

2024年度 松田病院 病院指標

- ・年齢階級別退院患者数
- ・診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）
- ・初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数
- ・成人市中肺炎の重症度別患者数等
- ・脳梗塞のICD10別患者数等
- ・診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）
- ・その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

年齢階級別退院患者数

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	0	24	133	222	300	401	411	607	253	38

当院の患者さんは、60歳以上の占める割合が54.8%で、最も多いのが70歳代（25.4%）、次いで60歳代（17.2%）50歳代（16.8%）となっています。全体を通して小腸大腸の良性疾患が多いです。年代別の疾患は、50歳代以下では、痔核、痔瘻、肛門周囲膿瘍などの肛門疾患の割合が高く、60歳代以上では、肛門疾患の他は直腸・結腸の悪性腫瘍の割合が高くなっています。また、70歳以上では、直腸脱・肛門脱の割合も高くなっています。

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

◆消化器外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数	転院率	平均年齢
060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）	679	2.18	0	66.3
060220xx97xxxx	直腸脱、肛門脱	253	8.79	0	61.9
060241xx97xxxx	痔核	245	6.17	0	49.9
060230xx97xxxx	肛門周囲膿瘍	187	2.91	0	43.2
060235xx97xxxx	痔瘻	175	6.85	0	43.6

大腸ポリープや大腸腺腫に対する内視鏡治療で小腸大腸の良性疾患が最も多く、当院の専門性から痔核・痔瘻の症例数も多くなっています。また、直腸脱・肛門脱や小腸大腸の良性疾患の検査入院症例が多いですが、70歳代以上の高齢の方の割合が高いです。

初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

	初発					再発	病期分類基準 (※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	7	0	0	0	0	1	1	8
大腸癌	26	20	24	17	25	25	1	8
乳癌	0	0	0	0	0	0	1	
肺癌	0	0	0	1	0	0	1	8
肝癌	0	0	0	0	0	0	1	

※ 1:UICC TNM分類、2:癌取扱い規約

当院は5大癌（胃癌・大腸癌・乳癌・肺癌・肝癌）の中では、専門分野である大腸癌をメインに治療を行っています。UICCの病期分類では、Stage I・Ⅲが多くなっていますが、これは当院の専門性から肛門診察、大腸内視鏡検査による発見が影響していると思われます。また、大腸がん検診にも力を入れていることから、Stage I の患者数が多いのも特長です。

成人市中肺炎の重症度別患者数等
該当なし

脳梗塞のICD10別患者数等

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	0	0	0	0
その他	1	2	94	0

診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

◆消化器外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K7211	大腸ポリープ・粘膜切除術 _(長径2cm未満)	642	0.11	1.03	0	67
K7522	肛門形成手術（直腸粘膜脱形成手術）	208	0.93	7.28	0	59
K745	肛門周囲膿瘍切開術	173	0.03	1.8	0	44
K7434	痔核手術（根治手術（硬化療法を伴わない））	145	0.81	6.99	0	47
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術 _(両側)	108	0.19	1.76	0	64

大腸ポリープや大腸腺腫に対するポリープ・粘膜切除術を最も多く実施しています。また、大腸肛門の専門病院として、肛門手術が1,000件以上あり、中でも肛門形成手術を最も多く行っています。

その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

DPC	傷病名	入院契機	症例数	請求率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	0	0
		異なる	0	0
180010	敗血症	同一	0	0
		異なる	0	0
180039	その他の真菌感染症	同一	0	0
		異なる	0	0
180040	手術・処置等の合併症	同一	24	1
		異なる	0	0

2024年度 松田病院 医療の質指標

- ・ リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率
- ・ 血液培養 2 セット実施率
- ・ 広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率
- ・ 転倒・転落発生率
- ・ 転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b以上の発生率
- ・ 手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率
- ・ d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率
- ・ 65歳以上の患者の入院早期の栄養アセスメント実施割合
- ・ 身体的拘束の実施率

リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数（分母）	54
分母のうち、肺血栓塞栓症の予防対策が実施された患者数（分子）	54
リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率	100%

血液培養 2 セット実施率

血液培養オーダー日数（分母）	13
血液培養オーダーが 1 日に 2 件以上ある日数（分子）	1
血液培養 2 セット実施率	7.69%

広域スペクトルの抗菌薬使用時の細菌培養実施率

広域スペクトルの抗菌薬が処方された退院患者数（分母）	9
分母のうち、入院日以降抗菌薬処方日までの間に細菌培養同定検査が実施された患者数（分子）	5
広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率	55.56%

転倒・転落発生率

退院患者の在院日数の総和（分母）	9,263
退院患者に発生した転倒・転落件数（分子）	6
転倒・転落発生率(%)	0.65%

転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b以上の発生率
該当なし

手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率

全身麻酔手術で、予防的抗菌薬投与が実施された手術件数）（分母）	171
分母のうち、手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数（分子）	171
手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率(%)	100%

d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率
該当なし

65歳以上の患者の入院早期の栄養アセスメント実施割合

65歳以上の退院患者数（分母）	890
分母のうち、入院後48時間以内に栄養アセスメントが実施された患者数（分子）	143
65歳以上の患者の入院早期の栄養アセスメント実施割合(%)	16.07%

身体的拘束の実施率

退院患者の在院日数の総和（分母）	9263
分母のうち、身体的拘束日数の総和（分子）	42
身体的拘束の実施率(%)	0.45%